

黒部市中教研 研究計画

会 長 朝 倉 美音子
 会員数 88名

1 本年度研究の基本方針

各教科、道徳、特別活動等の実践的研究を推進し、自主性・創造性・社会性を重んじた中学校教育の活性化を図るとともに、自ら考え主体的に判断し行動できる資質や能力と、互いに認め合い励まし合う豊かな心を身に付け、たくましく生きる生徒の育成を目指す。

- (1) 指導内容を小・中・高等学校一貫の立場から見通し、相互の関連を図りながら系統的・発展的な指導に努める。
- (2) 各教科、道徳、特別活動等の基礎的・基本的な知識及び技能が確実に身に付くよう、個に応じた指導の充実を図る指導計画、指導方法や指導体制の工夫・改善に努める。
- (3) 生徒の自主的・自発的な学習活動を促し、考えを深め合い、思考力、判断力、表現力等を養うとともに、学び方が身に付く指導計画、指導方法の改善に努める。
- (4) 指導計画や指導方法の改善に生かすため、学習の過程や成果を評価規準に基づいて評価し、指導と評価の一体化に努める。
- (5) 研究の成果を振り返り、日常の教育実践に生かすことができる研究の継続と累積に努める。

2 部会構成と研究主題

番号	部会名	部員数	研 究 主 題
1	国 語	14	言葉に対して自覚的に思考・判断・表現する言語活動を通して、国語の能力を高めていくための指導はどうあればよいか。 -言葉についての課題解決を主体的・対話的に行う授業づくり-
2	社 会	11	社会的な見方・考え方を働かせ、社会的事象を主体的に追究する生徒を育てるにはどのようにすればよいか。 -思考力・判断力・表現力等を育てるための教材開発や学習活動はどうあればよいか-
3	数 学	13	数学的に考える資質・能力を育成するために、数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、深い学びを実現する指導はどうあればよいか。 -数学を活用して事象を論理的に考察し、表現する力を育てるための指導はどうあればよいか。-
4	理 科	9	自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成するにはどうすればよいか。
5	音 楽	4	幅広い音楽活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成するにはどうすればよいか。 -「音楽的な見方・考え方」を働かせた学習活動の工夫-
6	美 術	5	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成するための学習指導はどうあればよいか。 -美術科で育成することを目指す資質・能力の三つの柱の実現に向けて-
7	保健体育	8	心と体を一体として捉え、生涯にわたって運動に親しみ、明るく豊かな生活を営む態度を育てる学習指導はどうあればよいか。
8	技術・家庭 (技術)	3	「いきてはたらく力」につながる技術・家庭科の教育の推進 -生活にいかすための問題解決的な学習の充実-
9	技術・家庭 (家庭)	2	「いきてはたらく力」につながる技術・家庭科の教育の推進 -生活にいかすための問題解決的な学習の充実-

番号	部会名	部員数	研 究 主 題
10	英 語	11	コミュニケーション能力の基礎を養うにはどのように指導したらよいか。 - 4技能を総合的に育成するための言語活動を通して-
11	道 徳	8 (重複)	主として自分自身に関する道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める道徳の授業はどうあればよいか。 - 互いに関わり合い道徳的価値の理解を深め合う学習活動-
12	特別活動	8 (重複)	学級活動を通して身に付けるべき資質・能力を育成するための指導はどうあればよいか。 - 生徒が主体的に参加し、合意形成や意志決定を目指す話し合い活動を通して-
13	特別支援教育	10 (重複)	特別な支援を必要とする生徒が個性や能力を最大限に発揮し、進んで社会参加できるための指導はどうあればよいか。 - 生徒が成就感や達成感を味わえる学習過程の工夫-
14	保 健	4	生涯にわたって主体的に心身の健康づくりに取り組み、健康で安全な生活を営む能力や実践的な態度を育てる健康教育はどのようにすればよいか。 - 生徒が心身の健康について理解を深め、主体的に健康な生活を実践するための指導の工夫-

3 年間計画の概要

月	会 合 名	会 場	内 容
4	協 議 会 部 会 会 総 会 会	鷹 施 中 学 校	・平成 30 年度事業の反省と会計承認 ・令和元年度新役員の選出、事業計画、予算の審議 ・令和元年度各教科の研究主題と研究計画の立案
6	教 科 部 会	市内各中学校	・研究授業、指導案の検討、実技研修等
	道 徳 特 別 活 動 特 別 支 援 教 育	鷹 施 中 学 校 高 志 野 中 学 校 桜 井 中 学 校	・資料、指導案の検討 ・指導案の検討
9	教 科 部 会	市内各中学校	・研究授業、指導案の検討、教材研究、事例研究 年間計画の検討、63 回研究大会の事前研究
	道 徳 特 別 活 動 特 別 支 援 教 育	高 志 野 中 学 校 桜 井 中 学 校 宇 奈 月 中 学 校	・研究授業と事後研修 ・研究授業と事後研修
10	第 63 回 中 学 校 教 育 課 程 研 究 大 会	各 会 場	・研究授業、研究発表と協議等
1	教 科 部 会 合 同 講 演 会	富 山 県 技 術 専 門 学 院 新 川 セ ン タ ー 黒 部 市 国 際 文 化 セ ン タ ー	・研究のまとめ、研究紀要の作成と配布 ・小教研との合同講演会
2	協 議 会	鷹 施 中 学 校	・令和元年度の事業・会計中間報告と令和 2 年度への展望等

4 留意事項

- (1) 学習指導要領のねらいや考え方等を踏まえて研究を推進するとともに、学習指導要領の中核をなす「生きる力」を育む教育を推進するために、研究組織、研究内容、研究方法の改善を図る。
- (2) 県中教研の計画を踏まえ、研究の継続性を重視しながら、実践的・組織的研究を推進する。
- (3) 次年度以降の研究の方向を見通しながら、年度ごとの成果と課題を踏まえて研究計画を立て、研究を推進する。
- (4) 学力調査の結果をS-P表等を活用して分析し、きめ細かな学習指導に生かすとともに、確かな学力が身に付くよう、研究を推進する。